

ごみを減らすために

3Rを推進しましょう！

3Rとは、Reduce（リデュース＝発生抑制）、Reuse（リユース＝再使用）、Recycle（リサイクル＝再生利用）の頭文字を取った3つの行動の総称です。

SDGs（持続可能な開発目標）により、環境や資源・廃棄物問題を含む取り組みの新たな目標が示された今、循環型社会の実現に向けて、3Rの取り組みを進めていきましょう。

リデュース

1. Reduce【発生抑制】

資源の消費、ごみの発生を減らしましょう

使い捨てをやめるなど、日々の事業活動スタイルを見直して、ごみを減らしましょう。

取り組み例

- 両面コピーをする。
- 印刷ミスを防ぐため、印刷前にパソコンやコピー機の設定を確認する。
- 伝票、事務書類、調査資料などを可能な限り電子データ化する。
- パンフレット、チラシは必要最小限の作成とする。
- 食事では、マイはし、マイカップやマイボトルなどを使い、ごみとなるものを減らす。



リユース

2. Reuse【再使用】

繰り返し使うことで、ごみを減らしましょう

前と同じようには使えなくても、違う使い方ができる場合もあります。いろいろな工夫をして、ものを使い尽くしましょう。

取り組み例

- ミスコピー紙や片面コピー紙をメモ用紙として利用する。
- 使用済み封筒などは、社内メール（内部連絡用）などに利用する。
- 備品・消耗品などの状況を管理して、社内でも融通し合う。
- コピー機などのトナーカートリッジは、再生利用できるものを使う。



リサイクル

3. Recycle【再生利用】

資源として再び利用することで、ごみを減らしましょう

汚れていない紙類やびん・かんなど、リサイクルできるものは分別を徹底し、「ごみ」としないでリサイクルに回しましょう。

取り組み例

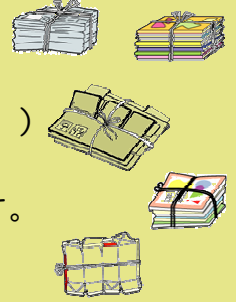
- びん・かん、ペットボトルなどは、リサイクルボックスを設置して分別する。
 - ☞中を軽く水ですすぎ、ペットボトルは、キャップとラベルをはずす。
- 木、草類はチップ化によりリサイクルできるので、きちんと分ける。
 - ☞専門業者（5ページ）では、ある程度大きな木も処理できます。
木や草は分けて、付着した土砂はなるべく取り除いてください。
- 小型二次電池はリサイクルできるので、きちんと分ける。
- 保管場所を確保する。
 - ☞濡れてもよいものは屋外でもいいが、飛散や悪臭が発生しないようにする。
- 分別した後は、廃棄物許可業者などに資源物として引き渡す。
 - ☞少量の引き渡しなど、分別収集が難しい場合は、排出量に応じて、週・月単位で引き渡す。
詳しくは取引業者（5、6ページ）と相談してください。



紙のリサイクル

紙類は、種類ごとにリサイクル方法が違うので、次の5種類にそれぞれ分別しましょう。

- 新聞紙・・・新聞、チラシ、パンフレット（針金で中綴じしたもの）など
- 雑誌・・・背を糊付けで綴じられたもの
- ダンボール
- オフィス用紙・・・コピー用紙、書類など
- 牛乳パック・・・牛乳パック、飲料パック（水ですすぎ、開いて乾かす。）
- ☞ バインダーなどについている金具は外して、鉄くずとしてリサイクルする。
- ☞ 裁断処理（シュレッダー処理）した紙はリサイクルできない場合があります。詳しくは下記の専門業者にお問い合わせください。
- ☞ 汚れた紙や油紙など、禁忌品（＊紙の原料にならないもの）は混ぜない。



禁忌品(リサイクルできない紙類)

- 粘着物の付いた封筒や圧着はがき
- 防水加工紙（紙製の食品容器など）
- 油紙（ロウが塗られた紙も含む）
- 合成紙（正確には紙でない）
- 捺染紙（アイロンプリント紙）
- 感熱紙（レシートなど）
- 感熱製発泡紙（点字用など）
- 写真
- 金銀などの金属が箔押しされた紙
- 裏カーボン紙（複写伝票など）
- 複合素材の紙（アルミ箔などを貼り合せたもの）
- 臭いのついた紙（石鹸などの包装紙など）
- 汚れた紙（ティッシュペーパーなど）
- 紙以外のもの（ファイルの金具・粘着テープなど）

資源物はリサイクル業者へ

- 市内および近隣に所在するリサイクル業者 ※事前に搬入方法や搬入条件などをご確認ください。

種類	業者名	住所	電話番号
紙類	(株)もっかいトラスト	工栄町21-5	(011)384-0745
紙類 (機密書類を裁断処理)	ジェーピー北海(株)	工栄町21-2	(011)384-5318
空き缶 金属類	(有)最上商店	工栄町21-13	(011)382-4305
びん類	TREガラス(株)	空知郡南幌町南16線西22	(011)378-7007
ペットボトル	(有)豊栄	角山64-18	(011)385-1567
木類、草、畳、 紙くず	角山開発(株)	角山69-4	(011)385-2669
木類	北日本総業(株)	角山425-5	(011)807-5578

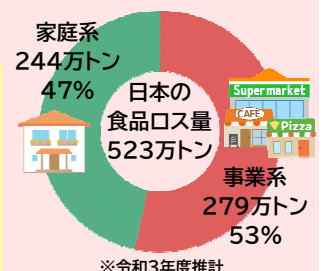
食品ロス削減にご協力ください

「食品ロス」とは、食べられるのに廃棄される食品のこと。

日本全体では523万トンで、国民1人1日当たり114gとなり、毎日茶碗1杯分のごはんの量を捨てていることとなります。事業所から出る食品ロスは、そのうち53%。捨てられてしまう料理・食料を減らしましょう。

事業者のできる食品ロス削減

- 食材の使い切り・食べきりや、3010運動(*)の推奨
- 飲食店での小盛りやハーフサイズメニューの提供
- 飲食店においてできる範囲で料理の持ち帰りへの協力
- 食べきりへのインセンティブ付与
- 生ごみ減量の啓発活動など



さんまるいちまる
(*)3010運動
宴会時、始めの30分と終わりの10分は席を立たずに料理を楽しみ、食品ロスを削減する運動。